97号
2024年10月
住みよい我孫子を作るための情報紙

# 東風

日本共産党我孫子東後援会
岩井事務所　サンハイム湖北台101
我孫子市湖北台8-18-8
TEL＆FAX 04-7188-2141
我孫子市議団ホームページ
https://jcp-abiko.com/

## 新総裁に石破氏
## 平和、国民のくらし守れない

先月末に自民党総裁選で選出された石破氏ですが、行き詰まりの自民党政治を打開する道を示せません。

内政では、今までの自民党政治を継承し、更に安倍・菅・岸田政権の「自己責任論」に基づく、新自由路線をさらに推し進めようとしています。

外交では、タカ派の異名のとおり、中国を念頭に置いて「アジア版ＮＡＴＯ」の創設を提唱しています。日本は、唯一の戦争被爆国なのに、米軍の核兵器の共有に言及し、国是である「非核三原則」の見直しまで強調しています。

裏金、統一教会問題で破綻した、岸田自民党政治に対して一片の反省もなく、更に推し進めようとする自民党政治は、一日も早く終わらせるしかありません。

（湖北　S）

## 日本共産党の躍進で、新しい政治へ！

日本共産党の「しんぶん赤旗」がスクープした自民党の裏金事件。岸田首相が退陣し、新総裁に石破氏が選ばれ首相に指名されました。岸田首相が退陣し裏金事件からの信頼回復をもくろみ、看板のかけ替えをしても国民はだまされません。

石破首相は、９日解散、27日投票を表明しました。

今回の総選挙は、日本共産党の躍進で自民党政治を転換するチャンスです。裏金に無反省、物価高に無策、軍事費は２倍、９条改憲ごり押し、ジェンダー不平等など。自民党政治は、財界とアメリカの顔色ばかりみて国民不在です。日本共産党は、政治を大もとからたて直します。

衆議院比例南関東ブロックは、定数が１議席増え23議席になりました。共産党は、３議席奪還をめざしています。

比例区で３議席奪還と、１３区候補者当選のためにお力をおかしください。

## 9月議会報告

我孫子市の９月議会は、決算議会です。９月２日から２７日までの２５日間の長期の会期となりました。質問者は、代表質問７名と個人質問６名の１３名でした。

請願は、現行健康保険証存続請願、義務教育国庫負担制度堅持請願、２０２５年度教育予算拡充請願の３件です。「現行健康保険証存続請願」を、岩井康議員を賛成討論を行いました。

岩井康議員

質問内容
1．第４次総合計画基本構想
2．我孫子市学区統廃合・小中一貫校問題

### 第４次総合前期計画の検討

**1．手賀沼湖畔の我孫子新田地区の活用**

今年２月に公衆浴場、ホテル、旅館の建設を可能にする地区変更案方針を改訂した。市は、７月に変更案に対して市民と利害関係者から意見書を受け付けた結果３５４人から意見書が提出された。

**2．西部地区の課題**

西部福祉センターや布佐・新木間の市民の足を確保するバス路線などの課題が山積している。

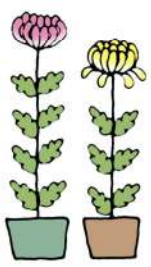
ＰＤＣＡ（計画ー実行ー評価ー改善）サイクルに基づき、どのような検討か。

■企画総務部長

基本計画に基づき、作成している実施計画や、行政評価上の事務事業に、ＰＤＣＡサイクルに基づいて評価改善を行っており、市の施策全体の進行管理を図っている。

緊急的な課題に対しては、基本計画作成当初から変化が生じた案件であっても、実施計画や事務事業の見直しで、十分対応できるものと考えいる。

市民サービスへの影響等を勘案し、その都度適切に対応するとともに、市の予算全体における事業の優先度などを踏まえ、実施計画や事務事業の進行管理を行っていく。



### 学区統廃合・小中一貫校問題

1．教育は、子ども、児童、生徒の成長の立場から考えてほしい。

総務省の「公共施設等総合管理計画」との関係はあるのか。

■教育総務部長

総務省の指針に関係がある。

再生規模の検討を行う場合には、①子どもたちの教育環境を最優先②学校と地域との連携。③将来の児童生徒の連携の、３つの視点を重点にしている。

2．地域コミュニティについて。

小学校・中学校区は、どこでも地域コミュニティの中心になっている。統廃合で、布佐南小がなくなることは、布佐南小地域のコミュニティ破壊に繋がるのではないか。布佐南小地域のコミュニティについての代替案はあるのか。

■教育長

現在、布佐南小学校では、地域コミュニティを活かし、教育活動の推進を図っている。

布佐南小学校、布佐小学校、布佐中学校の３校は、布佐カリキュラムという共通学習を通し、以前から地域のことについても学んでいる。布佐南小学校地域のコミュニティは、布佐地区としてより広いコミュニティになっていくと考えており、地域とともにある学校づくりを進めていく。

3．こども家庭庁の開設で「子ども基本法」が制定された。施策策定、実施及び評価に当たっては、「子どもの意見を反映させるために必要な措置を取る。」と規定が示されている。

教育委員会に提出された、我孫子市布佐中学校区学校の在り方に関する提言書のアンケートは、子どもの意見を聞く内容はなかった。提言書を受けた教育委員会は、「子どもの権利条約」に基づき、学校統廃合についてのアンケートを取り組んでほしい。

■教育長

我孫子市布佐中学校区の学校の在り方に関する提言書は、子どもの最善の利益、そして最適な学習環境について検討したことをまとめた。児童生徒と接している各校の校長や、保護者代表の委員等から、児童生徒の意見を参考に、提言書はまとめられている。

学習環境の整備については、現在在学している児童生徒だけではなく、今後の児童生徒のことも

（裏面に続く）

考える必要があり、大人の責任で行うべきものと考えている。

課題として残っている事項は、協議したのちには、子どもたちに説明する機会を設けていく。。

3．布佐中学校区の統廃合の後、我孫子市全体の統廃合について

■教育長

児童生徒数の現状と今後の推移、及び、国の基準を基に、学校適正規模の検討を始める基準を設定している。適正規模の基準は、①子どもたちの教育環境を最優先に考える②学校と地域との連携を考える③将来の児童推計を見据えて考えるの、3つの視点を重点としている。

我孫子市における学校の適正規模には、今後速やかに検討する必要がある中学校区が生じた場合は、検討委員会を組織して検討する。

船橋優議員

質問内容

1．防災減災

2．市内公共施設階段等危険箇所の点検を

3．だれもが住みよい町に

## 防災・減災

昨今、地震が多発しており、家具等が転倒し凶器になることがある。転倒防止事業に助成金、補助金を設け、転倒防止事業を、市内のシルバー人材センターや建築組合、商工会等に委託してはどうか。

■健康福祉部長

家具の転倒防止の補助金制度の創設は、現在考えていない。自分で家具の転倒防止を行うことが困難な方には、各地区の「高齢者何でも相談室」やケアマネージャーなどが、シルバー人材センターや事業者を紹介し、家具などの転倒・落下によるけがの防止策に対応できるよう支援している。

10月実施予定の居宅介護保険事業者等を対象とした集団指導で、普及啓発へ協力を求める。

## 市内施設の階段等危険個所点検を

去る6月21日の雨の日、アビスタの階段で、階段から落ちた方がいました。頭から多量の出血があり、意識不明となったが、幸い一命は取りとめた。

市の被害者への対応と、現在どのような状態なのか。

■生涯学習部長

利用者への周知は、施設入り口付近に足元への注意喚起を掲示しいる。

また、法定点検や管理委託事業者と常に情報を共有し、施設の危険個所の点検や会議などを通し、施設の安全対策を常に図っている。

転倒された家族と連絡を取り、現在の様態も確認している。保険会社等との手続きも案内している。現在は、自宅近くの病院に転院し、回復に向けリハビリを行っている。

アビスタでは、公民館総合保障制度に加入しており、利用者の怪我などが補償対象となっている。

転倒された方は入院中であり、保険申請は退院後となるため、引き続きご家族や保険会社と連絡を取り、情報等を確認していく。

## 「誰もが住みよい町」へ

千葉県内のJR東日本の「みどりの窓口」は多く閉鎖され、我孫子市内全ての「みどりの窓口」がなくなり、多くの市民が困っている。JRへ再開の申し入れを。

■企画総務部長

令和3年に、「みどりの窓口」は、一定の利用がある新幹線、特急の停車駅の外、順次窓口の縮小を進めて行くと発表があり、我孫子駅と湖北駅の「みどりの窓口」が閉鎖となった。

市は、JR東日本に、「みどりの窓口」の継続の要望を行ってきた。鉄道利用者の利便性を損なわないようにする対応として、窓口を閉鎖する際には、我孫子駅に「話せる指定席専売店」湖北駅に「駅専売機」を増設する旨の説明があり、市として一定の理解を示した。

JR東日本に、インターネットや券売機を活用した切符、定期券の購入方法の周知、購入希望者への丁寧な対応、混雑時における「みどりの窓口」の増設など、駅利用者の利便性向上について引き続き要

## ガードレールを設置してほしい

布佐駅前十字路から都信号の間の片側にガードレールが設置されました。ところが、反対側はまだ設置されていません。

この道路は、アンダーパスが出来てから交通量が増え、小中学生の通学路にもなっています。

「すぐにでもガードレールを設置してほしい。」との住民の声を受け、岩井議員は、市の道路課に市民の要望を伝えました。

## あびこ平和フェスティバル開かれる

8月24日、25日に我孫子市民プラザホールで「あびこ平和フェスティバル」が開かれ、両日合わせて約200名が来場しました。

今年の展示内容は、憲法問題や米軍基地問題、被爆写真展など定番のものに加えて、広島の高校生が描いた原爆の絵（昨年展示のものとは別の作品群）、パレスチナ問題やパリ五輪選手らによる平和の訴え、また新たな試みとしてのアンデパンダン展出品作展示などが目を引きました。また、市内の民主団体・サークルなどによる活動報告の交流展示も行われました。

文化行事では大正琴サークルによる懐かしく美しいメロディの演奏や、うたごえ全員合唱のほか、市内3つの短歌サークル合同による俳句・短歌作品展示や創作教室が行われました。

報告や講演では、今年の原水爆禁止世界大会・広島に参加した船橋まさる市議をはじめ3名から同大会の報告や訴えがありました。また、吉松千草元市議ほか1名の方から、戦時中の中国での生活や引き揚げ体験談が語られました。最終日には、青山学院大学名誉教授・羽場久美子さんによる「東アジアで戦争はしない！」と題した講演が開かれ、対立する米・中の力関係変化の中でアメリカの手先として戦争に引き込まれつつある日本と、それに対抗してアジアの中で平和共存を築くための主力となる市民の力の大切さを、とても解りやすく解説してくれました。

なお今年の平和フェスティバルでは、実行委員会の働きかけによって、我孫子市の後援に加えて初めて市教育委員会の後援も得ることができました。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ
しんぶん赤旗
日刊●月 3497円
日曜版●月 990円